



平成 22 年 12 月 1 日

各 位

東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号
株式会社ア ク セ ル
代表取締役社長 佐々木 譲
(コード番号 6730 東証第 1 部)
問い合わせ先
取締役 管理グループ 千代進 弘
ゼネラルマネージャー
電 話 03-5298-1670

(経過) 子会社の設立に関するお知らせ

当社が、平成 22 年 10 月 15 日付で発表いたしました「子会社の設立に関するお知らせ」に関して、本日子会社を設立いたしましたのでお知らせいたします。また、未確定であった子会社の商号及び代表者が確定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

- | | |
|-----------|--|
| (1) 商 号 | [和文] 株式会社ニューゾーン
[英文] NEW ZONE CORPORATION |
| (2) 代 表 者 | 代表取締役社長 金山 信夫 |
| (3) 設 立 日 | 平成 22 年 12 月 1 日 (水曜日) |

(ご参考)

平成 22 年 10 月 15 日付「子会社の設立に関するお知らせ」を添付いたしますので、ご参照ください。

以 上



平成 22 年 10 月 15 日

各 位

東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号
株式会社 ア ク セ ル
代表取締役社長 佐々木 譲
(コード番号 6730 東証第 1 部)
問い合わせ先
取締役 管理グループ 千代進 弘
ゼネラルマネージャー
電 話 03-5298-1670

子会社の設立に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 10 月 15 日開催の取締役会において、当社全額出資の子会社を設立することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 設立の目的

当社は、LSI 製品等を対象とする新たな市場領域（事業分野）の開拓と新規事業の早期立ち上げを目的として、100%子会社を設立することといたしました。

現在、当社では、社会生活環境の変化や諸規制の緩和等による新たなビジネスチャンスが現れているものと考えております。そして、このようなビジネスチャンスを捉え、製品開発から事業化までの流れを早期に実現するためには、フレキシブルな事業活動に対処できる組織体制が適していると考え、新規プロジェクトの企画立案から具体的な事業化までをカバーする一連の事業活動を機動的に推進できる体制を構築することといたしました。

当社におきましては、自由度の高い組織体制の子会社を設立することにより、当社の既存事業に向けた事業活動に加えて新規事業の積極的な開拓を同時に推進していく所存であります。

本子会社が、当面、製品開発の対象とする市場は、M2M市場（注）における特定領域で、特に社会生活に関わる「安全」、「安心」、「便利」といったニーズを有する分野に向けた製品開発を想定しており、主にコストや機能的側面を意識した設計開発を先行して行うことで市場の開拓を推進してまいります。

（注）M2M とは、Machine to Machine の略です。M2M は、機械によるデータ通信を人間の手を介さずに行うことをコンセプトとして有する機器群を意味しています。現在、本子会社では、この M2M 市場の中の一部を構成するデジタル簡易無線を応用した機器に向けた各種製品の開発を行う方針です。

2. 設立する子会社の概要

- | | |
|-------------|-------------------|
| (1) 商 号 | 未定 |
| (2) 本店所在地 | 東京都千代田区外神田 4-14-1 |
| (3) 代 表 者 | 未定 |
| (4) 主な事業 | 半導体、電子機器の開発販売 |
| (5) 資本金の額 | 125,000,000 円 |
| (6) 資本準備金の額 | 125,000,000 円 |
| (7) 事業年度の末日 | 3 月 31 日 |
| (8) 株主構成 | 当社 100%出資 |

3. 設立の日程

平成 22 年 10 月 15 日 取締役会決議

平成 22 年 12 月初旬 子会社設立（予定）

（注）現在未定の情報につきましては、内容が確定次第、お知らせいたします。

4. 今後の見通し

今回設立を予定している子会社による当社当事業年度の業績への影響は、当該子会社が設立初年度であることから軽微であると認識しております。

本子会社は、設立後比較的早期の黒字化及び累計売上高 20 億円突破を当面の目標として設立するものであり、グループとしての事業規模の拡大に向けた展開を推進していきたいと考えています。

以 上